

オーストラリア（豪州） 豪中銀が2ヵ月連続で利下げ

- 豪中銀は金融市場の予想通り2ヵ月連続で利下げ
- 物価目標達成のため追加利下げの可能性はなお高い
- 市場は追加利下げを織り込み豪ドルの上値は重い

■ 豪中銀が2会合連続の利下げを実施

2日の金融政策決定会合で豪中銀は先月に続いて政策金利を0.25%引下げ過去最低の1.00%としました（図1）。減速傾向にある景気の押し上げと低迷するインフレ率の加速が目的です。追加利下げは短期金融市場や大半のエコノミストが予想していました。声明文労働市場を注視し、成長率を支えインフレ率が目標に達するために、必要があれば金融政策を調整すると示されました。

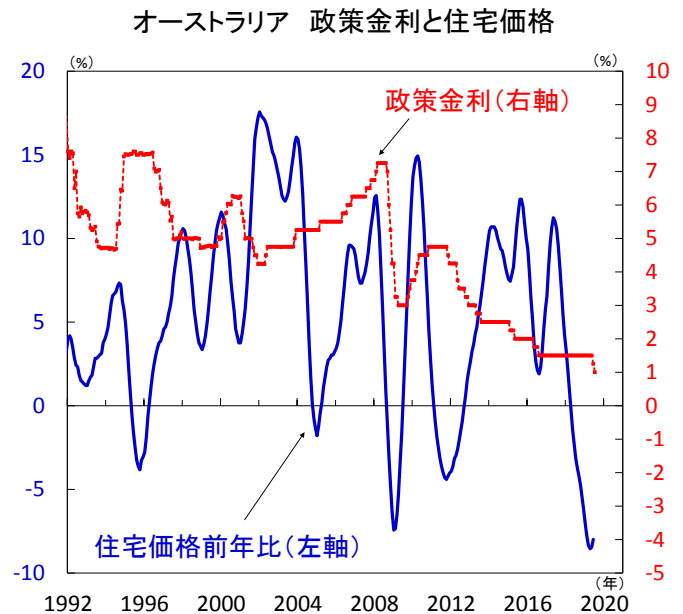
■ 年内追加利下げの可能性は高い

良好な雇用環境は続いていますが失業率は小幅上昇しており（図2）、インフレ目標を確実に達成するために失業率の低下を目指す豪中銀にとって、追加緩和は必要な措置といえます。住宅価格は一部の大都市で安定化の兆候がみられますが大幅な前年割れの状態であり、利下げによる下支えが必要です。年内に追加利下げの可能性は高く、経済指標次第でタイミングは早まるでしょう。

■ 金融市場は追加利下げを織り込む

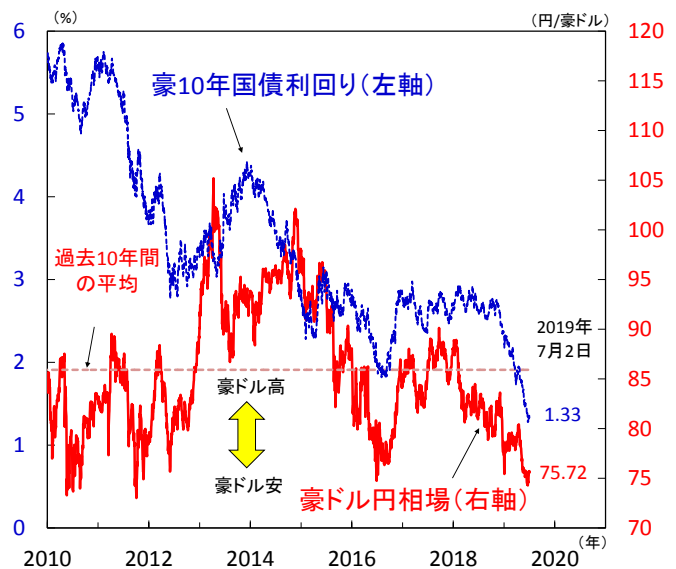
豪ドルは追加利下げ実施を受け下押しされるも、すぐに反発しました。金融市場は年内0.25%幅であと1-2回の利下げを見込んでおり、豪ドルの上値は重いと考えられます（図3）。他方、米中貿易問題の改善や追加の財政刺激策を受け豪ドルが持ち直す可能性もあるため、当面は豪ドルはもみ合う展開を予想しています。（向吉）

【図1】7月の政策決定会合で豪中銀が2ヵ月連続利下げ

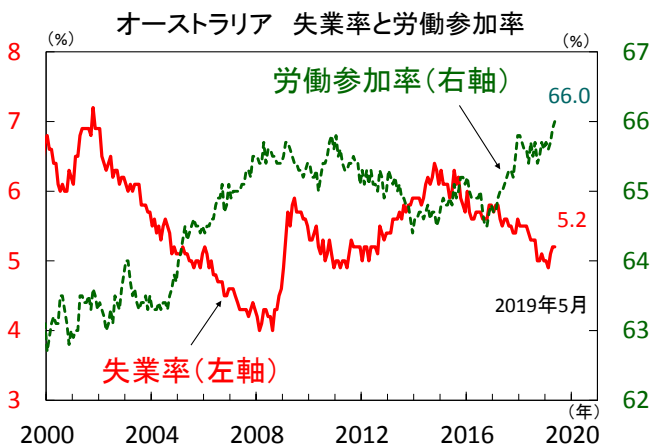


【図3】追加利下げを織り込み豪ドルは上値が重い

オーストラリア（豪）ドル相場（対円）と豪長期金利



【図2】足元の失業率は小幅上昇



本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会